

CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築環境総合性能評価システム (2014年改定、省エネルギー性能評価項目を新設) ■使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	プライド覚王山御棚町	階数	地上5F,地下1F
建設地	名古屋市千種区御棚町三丁目 19、20、24-1、24-2、25番	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	105 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2025年1月7日
敷地面積	1,407 m ²	作成者	
建築面積	984 m ²	確認日	2025年1月10日
延床面積	4,631 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
BEE=1.2 ★★★★★ S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★	★☆☆☆☆ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²) このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q のスコア= 3.2		
Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2	Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.3	Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.0
LR 環境負荷低減性 LR のスコア= 3.2		
LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.1	LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.6	LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合 雁行する形状を活かし、縦ラインを強調してシンプルな構成ながらも表情のあるデザインとしており、高級住宅地に相応しい先進性・上品さ・高級感を演出する仕上を選定している。		
Q1 室内環境 遮音性能の高いサッシとすることで快適な住環境としている。また、日本住宅性能表示基準「5-1断熱等性能等級」における等級4相当を取得している。	Q2 サービス性能 高い階高と、インテリアパースによる内装計画の事前検証により、ゆとりのある空間としている。	Q3 室外環境(敷地内) 道路に面した場所を中心に緑地を確保し、豊かな外構となるよう植栽計画をすることで都市景観に配慮した。
LR1 エネルギー 建物外皮性能は日本住宅性能表示基準「5-1断熱性能等級」における等級4を満たし、建物全体のBEIは0.55となっている。	LR2 資源・マテリアル 節水コマなどの採用により環境負荷低減を行った。	LR3 敷地外環境 ディスプレイを設け、生ごみの軽減を測った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

クラウド覚王山御棚町

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	4.1	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				2.9
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.6
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.7



2. 自然共生

評価点 = 2.9



3. 循環型社会

評価点 = 2.6



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。